

^{みき よしかず}
■ 三木 義一

青山学院大学学長。1973年中央大学法学部学部卒業、1975年一橋大学大学院法学研究科博士課程中退。法学博士（一橋大学）。専攻は税法。静岡大学人文学部法学科教授、立命館大学法学部教授、等を経て、2010年4月より青山学院大学法学部法学科教授、2015年12月同大学学長（現在に至る）。主著として(1)日本の税金・第三版（岩波新書）、(2)日本の納税者（岩波新書）など。

^{あんざい ゆういちろう}
■ 安西 祐一郎

統合イノベーション戦略推進会議「AI戦略」有識者会議座長、本協会副会長。1974年慶應義塾大学大学院博士課程修了。カーネギーメロン大学客員助教授、北海道大学文学部助教授、慶應義塾大学理工学部教授、93年～2001年同理工学部長、01～09年慶應義塾長、11～18年独立行政法人日本学術振興会理事長。現在、独立行政法人日本学術振興会顧問・学術情報分析センター所長、文部科学省参与（高大接続改革担当）、内閣府人工知能技術戦略会議議長等。中央教育審議会会長、高大接続改革会議座長等歴任。専攻は認知科学、情報科学。

^{げんだ ゆうじ}
■ 玄田 有史

東京大学教授。博士（経済学）。専攻は労働経済学。1988年東京大学経済学部卒業、1992年3月東京大学大学院経済学研究科第Ⅱ種博士課程退学、1995年ハーバード大学客員研究員、1996年オックスフォード大学客員研究員、2000年学習院大学経済学部教授、2007年東京大学社会科学研究所教授（現在に至る）。著書として『仕事のなかの曖昧な不安』（中央公論新社、2001年、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞）、2009年第2回円城寺次郎記念賞（日本経済新聞社と日本経済研究センター共催）、2012年日本経済学会・石川賞、2015年沖永賞（「危機と雇用」）を受賞。

^{まし ひろとし}
■ 岸 浩稔

野村総合研究所ICTメディア・サービス産業コンサルティング部主任コンサルタント。2013年東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻博士課程修了（工学博士）、同年東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻副専攻課程修了、野村総合研究所入社。専門はデジタルメディアをはじめとする情報通信・放送分野における事業戦略、デザイン思考の実践によるイノベーションマネジメントを通じた戦略立案・実行支援に関する業務に従事。共同著書として「誰が日本の労働力を支えるのか？」（東洋経済新報社）。

^{みわ ひろよし}
■ 巳波 弘佳

関西学院大学理工学部情報科学科教授、学長補佐、関西学院大学×日本IBM AI共同プロジェクト統括。1992年東京大学理学部数学科卒業、同年日本電信電話株式会社（NTT）入社、NTT通信網総合研究所研究員、研究主任を経て、2002年関西学院大学理工学部情報科学科専任講師。2006年助教授（2007年より准教授）を経て、2012年教授。2000年京都大学博士（情報学）。専門分野は数理工学。IEEE COMPSAC2014 Best Paper Award（2014）、IEEE INCoS2011 Best Paper Award（2011）、電子情報通信学会通信ソサイエティマガジン論文賞（2011）、日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究賞（2017）等受賞。

^{こまき ふみやす}
■ 駒木 文保

東京大学大学院情報理工学系研究科教授、数理・情報教育研究センター長。1987年東京大学工学部計数工学科卒業、1992年総合研究大学院大学大学院数物科学研究科統計科学専攻博士課程修了。専攻は統計学。1992年東京大学工学部助手、1995年文部省統計数理研究所助教授、1998年東京大学大学院工学系研究科助教授、2009年東京大学大学院情報理工学系研究科教授。著書として『確率・統計Ⅲ』（丸善、共著、出版予定）。

^{なかつま てるお}
■ 中妻 照雄

慶應義塾大学経済学部教授、経済研究所FinTEKセンター長。1991年筑波大学第三学群（現・理工学群）社会工学類卒業、1998年米国立ラトガーズ大学よりPh.D（経済学）を取得。専攻はベイズ統計学、計量ファイナンス。1998年4月～2000年3月一橋大学経済研究所専任講師、2000年4月～2003年3月慶應義塾大学経済学部専任講師、2003年4月～2010年3月慶應義塾大学経済学部准教授、2010年4月～現職。主著として(1)『入門ベイズ統計学』朝倉書店、(2)『実践ベイズ統計学』朝倉書店、(3)『Pythonによるファイナンス入門』朝倉書店。

* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。